

ふれあい雪谷

平成18年
さくら号



(希望ヶ丘 鈴木 孝一さんの作品)

母校の思い出 25 大切な思い出

私が池雪小学校に転校してきたのは5年生の時だった。知っている友達が1人もいない中で過ごすのはとても嫌だったが、いざ入ってみるとクラスの子達は暖かく迎え入れてくれた。時間はかかったが、段々とクラスになじんでいくことができ、とても嬉しかったのを覚えている。

私は小学校が好きだった。友達と話し、遊び、勉強して帰る。それが、とても大切な事だと今では思う。友達とのけんかから、人の気持ちを考えることと自分の感情を抑えることを知り、集団行動から協力することの大切さを学んだ。クラブ活動では、運営の仕方や同じ目的をもった友達の大切さを知り、勉強では、自らの世界観を広げる楽しさや人の意見を聞き、発言する姿勢を養った。そして友達との関わりの中で、小さな組織のルールを学んだ。毎日が新鮮で過ぎるのが早かったのを覚えている。

5・6年で同じクラスだった私を入れた6人と今でも仲が良い。年に3回程度のペースで会い、近況報告をしあっている。実に人生の半分を共に過ごしている6人である。この関係は一生続くかなと思うと、照れくさくもあり、嬉しくも思う。

小学校が好きだったことも手伝い、私は小学校教諭になる事を決意した。私は、授業中教壇との距離を感じさせない、子どもたちに最も近い教師になりたい。そして何でも気兼ねなく相談できるような信頼関係を築きたい。信頼があるから教えていく事ができるのだと思う。

今年、私は母校で教育実習をすることになっている。色々不安ではあるが、実習を無駄にしないよう、精一杯頑張ろうと思う。何より、私が小学校時代感じていた、“学校は楽しい”という気持ちを伝えていきたいと思う。

(上池上 河原崎 さおり)



【編集後記】

地域の方々の「ふれあい雪谷」の編集委員として、毎回皆様方のご投稿並びに貴重なご意見を頂きまして、誠にありがとうございます。

今月発行のさくら号にも、リレー随筆・サークル紹介等多くの皆様のお話や体験等を記事にさせて頂きました。これからもよりよい地域のふれあいの場にする様、努力してまいります。

(小池 山下 雅己)

【発行】わがまち大田雪谷地区推進委員会
【編集】ふれあい雪谷編集委員会
連絡先 雪谷特別出張所
大田区東雪谷四三三三
電話 三七二九一五一七
【発行日】平成十八年四月一日
通巻第六十二号

子どもガーデンパーティ洗足池会場

4月23日(日)
午前10時～午後3時

ホームページ

<http://www.city.ota.tokyo.jp/nishi/yukigaya/index.htm>

サークル紹介 31 絵手紙教室

平成十六年三月、石川台自治会館にて、嶋田先生をお迎えして、無経験の方々十人程が集まり「石川台やよい会」として発足した教室です。

「下手でもいい、下手がいい」と先生の励ましの言葉を信じ筆を持ちました。間もなくの事、「六ヶ月後の展覧会に出品出来る様に」との言葉には驚いたものですが、他の教室の仲間入りをさせて頂き、「石川台やよい会」のコーナーが設けられ、初心者ながらも額に入った作品がとても輝いて見えました。



(先生の作品)



(石川台 長谷川 ノブ)

これも先生の教えがあつての事、時には話に花が咲き手元が和気あいあいと明るくて楽しい教室です。

四月末の展覧会に向けて皆さん頑張っております。

毎月第二・第四金曜日午後二時から二時間の教室です。

私の健康法 23

私は出来れば周囲の迷惑にならないよう、最後まで元気でいたいと願っております。

四十代の頃、ひどい湿疹で入院したことがきっかけで「ガンは怖くない」等の著者で、日赤の森下敬一先生を知り、何年か講座に通い、ほとんどの病気は血液をきれいにする事で治ると教えられました。

肉食を控え野菜と魚を中心とした食事にし、またそれと並んで食品添加物の研究で知られる郡司篤孝先生の講演を聞き、その怖さを知りました。食品を厳選することは難しいですが、安全を求めています。



(笹丸 鹿山 まつ子)

歩くことですが、五・六年前までは姉妹で毎週鎌倉に出かけて、ハイキング・寺院・店等くまなく訪ね歩きました。

今も四季折々の自然と、寄るお店は十五・六年も続き、心の財産となっております。

最近足洗池で知り合いになったバードウォッチングの方々と楽しく散歩しております。

今や少数派世代といわれる大正生まれの私が、元気でいられるのは、しっかりした土台の上に、食・歩く・癒しのバランスによるものだと思います。

—雪谷特別出張所、雪谷保育園の建て替え—

雪谷特別出張所、雪谷保育園の建て替えにつきましては、昨年のさくら号でもご紹介いたしましたが、いよいよ今秋に工事の着工となります。

また、5月より建築の閲覧用図面を雪谷特別出張所に用意し、いつでも皆様にご覧いただけるようにと思っております。新たな出張所には、駐車スペースが広がるほか広い集会室もでき、利便性も増すと思います。また、バリアフリーの面でも十分配慮されたものになるかと思います。

施設の完成は、平成20年1月の予定です。

建て替え後のイメージは以下のとおりです。なお、外構や植栽については、さらにご意見をいただきながら整備いたしますのでイメージから変更することがございます。



施設建設概略スケジュール（予定）

施設名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
◇雪谷特別出張所		建築調査・設計	工事着工	完成予定 平成20年2月	
◇雪谷保育園		建築調査・設計	工事着工	完成予定 平成20年2月	
◇ビジョンランド 雪谷保育園					
◇公園 ・東中公園増設 (1,783㎡)			廃止		
↓ ・公園新設 (約2,100㎡)				設計	着工・開校

—小池の整備について—

上池台一丁目の「小池」ですが、1月25日に第1回目の説明会を開催し、区から小池整備の素案を提示いたしました。さまざまなご意見をいただき、5月には第2回の説明会を開催する予定です。平成18年度には、池の護岸等の実施設計をする予定であります。
(雪谷特別出張所)

満65才

夏のある日、夫の元に加給年金打ち切りによる年金額の減額のお知らせが来た。かなりの減額になっていた。「エー！これは何？」夫婦はパニックになる。調べてみると65才になった妻の私の年金に振替加算されるのだということを知った。

社会保険事務所に問い合わせてみると「通知いってませんか？」「はい！」しばし電話の向こうは無言。おもむろに「戸籍謄本、住民票、非課税証明書、年金証書を持って事務所に来てください。大森と蒲田の保険事務所、どちらに来ますか？」蒲田が身近なので出かける。

「上池台は大森が管轄ですよ」パソコンに入力しながら言われてしまう。そんな事、問い合わせのときに言ってよ！と心の中でボヤク。「ご主人の年金証書は？」そんな事言われなかったと思う。「コピー送ってください。」と封書と切手を渡される。

11月振替加算金が振り込まれていた。以降、私の年金は少々増額された。減額された夫の年金の3分の1程であるが。

8月に介護保険料の徴収通知がきた。そうか介護保険の対象になったのだな。満65才。何かと生きづらくなってきたのかなと思う。

(池の台 横山 泰子)

美しい環境づくり⑩

環境論からみたバラ色の人口減少社会

いよいよ人口減少時代が始まった。50年後には1億人、100年後には7000万人という予想もあり人口減少を悲観的な面でとらえる灰色言説が圧倒的に多い。

ところで50年100年先の資源（石油・鉱物・木材・水等）枯渇問題、廃棄物・環境汚染、大気温暖化問題等の人間の消費が引き起こした地球規模の環境問題が極めて深刻になることが危惧される。その対策として省エネ・節約・リサイクル等もあるが、ダントツに効果があるのは消費の大本である人間の数が減ることである。つまりは環境の面からみれば、人口減少社会万歳ということになる。

無論人口の減少は世界規模でなされる必要があるが、日本が先鞭をつけて「美しい環境の持続可能な国家」を創り出すことができれば、平和憲法を加えて2枚看板を持つ国として日本が高く評価されることになり、人口減少を目指す（又は人口減少を肯定的にとらえる）国が増えることにつながる重要なきっかけを提供することになるであろう。

以上人口減少バラ色論を述べたが、人口減少が生産人口の激減・老人人口比の激増・年金医療制度の破綻・過疎化の拡大等の諸問題を引き起こすことは避けられない。しかし戦後わずか60年でこれだけの経済大国を作り上げた日本人は必ずやこれらの諸問題を乗り越えるものと確信する。

(東雪 M・M)

自治会リレー随筆

審判員として

私は月2～3回ボランティアで陸上競技の審判員として、正月の箱根駅伝をはじめ東京地区で行われる各種の競技会に参加しております。

青梅など三多摩で行われる競技場へ向かう途中の車窓からみた、緑豊かな自然に接すると、私が子どもの頃遊んだ雪谷の畑や田んぼ、川、ねん土山などが懐かしく思い出されます。

そんな風景をダブらせながら一歩競技場に入りますと、カラフルなTシャツ、ランニングシャツ、短パン姿の小学生から90才くらいまでの元気な老若男女の選手に出会います。

また、身障者の選手が伴走者の協力で健常者の選手と一緒に参加するレースもあり、体は不自由でも心は明るく、精一杯走る姿を目のあたりにしますと、勇気を与えていただき私も良い審判をしようという励みにもなります。

私もかつて市民ランナーとして各地の大会に参加し、多くの方々に支えていただき走る事が出来ました。今、微力ながらも協力出来ることに感謝をしております。今後も出来るだけ永く審判員を続けて元気に過ごしたいと思っております。

(南雪谷 亀村 進治)

雪谷文化センター	初心者体験教室
①子どもバレエ教室	4月19・26日
14時30分～15時30分	(3～6才)
15時30分～16時45分	(7～12才)
②気功体験教室	4月19・26日
19時～21時	
③欧風刺繍教室	5月15日
13時～16時	600円
往復はがきで締切	5月10日
④ダンスベル体操教室	5月15日
6月5・19日	
13時30分～15時30分	
⑤てん刻教室	5月23日
10時～12時	200円
往復はがきで締切	5月15日
記載のないものは無料、当日会場受付	
☆問い合わせ・申込み先	
雪谷文化センター	
南雪谷五丁目十八番三号	
TEL (三七二九) 〇〇六六	

俳句

野仏の慈眼の潤みいぬふぐり
源流の不思議が見えて春の川

(東中 岩波 博康)

夕桜池面静かに屈いでをり

(上池上 鶴岡 喜代子)

山桜三千院の薄化粧

(上池上 服部 あさえ)

この情報紙は古紙100%の用紙を使用しています。